現場説明書(技術的事項)

一	党公八国伍玉恕壮工 吏
工事名	富谷公園便所解体工事

1. 現場の状況

本施設は,芦田貯留槽(以下,貯留槽)に隣接しており,工事期間中は,し尿・ 浄化槽汚泥の投入及び汲み取り業務を行っています。

し尿・浄化槽汚泥の投入及び汲み取り業務は、月曜日から金曜日の午前8時~午後16時頃までです。

2. 留意事項

- (1) 工事期間中は、第三者等の安全確保に細心の注意を払うとともに、必要な対策を講じてください。
- (2) 工事に伴う施設の利用は最小限にとどめてください。また、工事で既存建物等に損傷を与えないように必要な対策を講じてください。なお、損傷を与えた場合は受注者負担により速やかに復旧してください。
- (3) 工事箇所に隣接した貯留槽では、し尿・浄化槽汚泥の投入及び汲み取り作業 車の往来があり、業務を優先させる必要があるため、工事の計画については、 監督員及び貯留施設管理者と事前に協議を行ってください。
- (4) 騒音・振動作業等は、監督員及び貯留施設管理者と事前に協議を行ってください。
- (5) 工事車両等の乗り入れ及び駐車位置は、監督員及び貯留施設管理者と事前に協議を行ってください。
- (6) 敷地内の作業範囲については適切な養生を行ってください。
- (7) 実施工程表は、契約後14日以内に提出してください。その際、作業工程は監督員及び施設管理者と十分に協議調整の上、作成してください。また、施工計画等の承諾は速やかに受けてください。
- (8) 本工事の受注者は、地元企業又は地場製品の活用に努めてください。

3. 別涂工事

給排水設備工事

- 4. 工事における「第20回世界バラ会議福山大会2025」ロゴの標示について 「第20回世界バラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて 開催されます。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識と して、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。
- (1) 使用するロゴは「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- (2) 「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ 利用許諾申請書」の提出は不要です。
- (3) 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- (4) 大会ロゴの標示は任意事項とし、標示する際は、発注課へ連絡してください。
- (5) ロゴ標示期限は2026年(令和8年)3月31日です。
- (6) デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せてください。
- 5. 法定外の労災保険の付保について 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいます。

富谷公園便所解体工事

	図 面 リ ス ト
番号	図 面 名 称
共-00	表紙・図面タイトル
共-01	解体工事特記仕様書 (1)
共-02	解体工事特記仕様書(2),附近見取図
A-01	解体前 配置図
A-02	解体後 配置図
A-03	平面図,立面図,基礎伏図,部分詳細図

福	山市建設	局建築	部営繕課	^{発注} 202	3年 11月
主	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

A2:100% A3:71%

	=====================================		福山市建設局建築部営繕課	図面No
	図面タ林	^{稲尺} S=Non Scale	2023年 11月	共-00

解 体 工	事特記仕様書	章	項	特記事項	享	項	0	特配	事 項	平	項	特記	争 填
		(1)		(撮影箇所) 監督職員が指示する箇所 (写真規格) ・カラーサービス版 ・カラーキャビネ版 ・		① 騒音・粉塵等の 対策(仮囲い等	 解体工事着手前に工事対象区域に 解体工事着手前に建物周囲に次の 		・ H= m ⊙ 図示)を設置すること。 ○対策を行う	(4)		※ 無し ・ 有り (
1. 工事名称	富谷公園便所解体工事	$ _{\perp} $		(規格・提出部数) · A 4版クリアファイル 部 · A 4版写真台紙 部 · アルバム 部	仮	の安全施設)	(・防音パネル ※ 防音シ			特別		④特定化学物質等	,
2. 工事場所	福山市芦田町福田7268番地	<u>.</u>		○ その他の写真	設	(2. 2. 1~2. 2. 2)	防音パネル等を取り付ける足場		等さ高	管		※ 無し	
3. 敷地面積		般		隣接建物等に損傷の恐れがある場合は、施工前、施工後の写真を監督員の指示により提出すること。			(・ 建物全周囲に建物高さ以)	理 産		・有り()
4. 解体建物概要	*******	共		○ 保管	<u> </u>				- 関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月2				-W. W. P M
1)構造・規模 2)新築工事の着工日	<u>軽量鉄骨造 平家建 延べ面積 9.60㎡</u>	通		工事写真のネガは工事完成後,受注者において2年間保管すること。	"				愍のある足場に関する基準」に適合する手すり、 B立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工》		2)特別管理産業廃業 物の処分等	処分等の必要な特別管理産業廃棄物は、関係法令 判明した箇所も、処分方法等を監督員と協議し、「	
3)耐火	<u>・耐火 ・準耐火 ・・</u> その他	事 (5	施工管理	受注者は施工管理体制を確立し、工程、安全、建設廃棄物処理等の施工管理を行う。			による足場の組立てに関する基準			A 199	(5. 4. 1)	刊明した国所も、延月月五寺を重目員と励識し、「	可能に定りすること。
4) その他	外構・雨水排水・植栽等	珥	(1. 3. 1)	※ 施工体制台帳(建設業法等に従って作成し、写しを提出する。)					か安全衛生規則を遵守して実施すること。	処但(3 廃石綿等	廃石綿等の処理は、解体仕様書6章「石綿含有建	すの除去及び処理」による。
		~		技術者台帳(施工体制台帳に添付)			騒音・振動計を設置すること。			141	(5. 4. 1)		
				監理技術者・主任技術者(下請を含む)及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記						4		事前調査対象機器は次による。	
5. 工事範囲	(1) 建物解体・撤去工事一式(内訳は別図による。)			載する。	@	② 監督員事務所	・ 設ける (m ² 程度)	0	設けない		(5. 4. 1)		
				※ 施工体系図(建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。)		(2. 3. 1)	・備品等()	11.			- 1.7
		(1	0 電気保安技術者	・ 適用する ① 適用しない	,	3 受注者事務所等	・ 敷地内へ建てることができる				5 PCB含有シーリング材	PCB含有シーリング材の分析調査及び撤去は次I ・分析調査箇所数 (計 箇所)分析	
			(1.3.3~1.3.4)	・地田りる・地田とない	°	3 文注有争伤刑等	・ 敷地内へ建てることができる				(5. 4. 1)		>>一リング材はPCBが飛散しないように適当な容器 →
			(1.0.0 1.0.1)		la	4) 工事用水	構内既存の施設 ・ 有償で利	用できる(副メ-	-ター設置等)		(6. 1. 1)	に納め、適切な場所に保管し、調書を作成の	
		() 施工条件	1)作業時間は、原則午前8時から午後5時までとし、通学時間帯を考慮すること。	`	~ ·	無償で利	用できる				(・図示による・)
6. 別途工事	○給排水衛生設備工事○電気設備工事		(1.3.5)	2)日曜日及び祝日に作業を行わないこと。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限			 利用でき	ない					
	・冷暖房設備工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			りではない。	ے ا					6	6 ダイオキシン類	廃棄物焼却施設等の解体方法の指定	
		ء ا			@	5 工事用電力	構内既存の施設・ 有償で利	用できる ・	無償で利用できる ① 利用できない		(5. 4. 1)	※ 解体作業	
		l a		1)労働安全衛生法第30条第2項の規定に基づく指名 ① 有り 無し 2)受注者は、現場代理人を工事現場に常駐させ、工事現場内外及び下請け業者の管理を十分に行い、	@ @	1) 事前措置	1) 松北節 ギュ節 電気にご! エ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	等の切断及び桝、配管等の撤去は本工事に含む。			第1管理区域(レベル1) ・第2管理区・()	域 (レベル2) ・ 第3管理区域 (レベル3)
Ⅱ 建築工事仕様		1	(1. 3. 0 - 1. 3. 0)	周囲の建物、通行者等に損傷を与えないように注意して工事を施工すること。		(3. 2. 1)			理については、供給者と事前に協議すること。			※ 廃棄物焼却炉からの排出物の処分	
1.共通仕様				なお、万一損傷が生じた場合は、受注者の責任において処理すること。	解	1			明示する。また、記録を残し監督員に提出する。			品目 最終処分場等	の名称 所在地 (距離)
図面及び特記仕様	#に記載されていない事項は,すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修,建築物解体工事共通仕様書			3) 工事中は、騒音、振動の発生、粉塵の飛散(散水)、道路の汚染等の防止に努めること。	体		③ 配管等の切断位置や、切り回					m b 版称処力場等 ・もえがら	07名称 月任地(距離)
同解説(令和4年)	反)(以下,「解体仕様書」という。)による。			※ 低騒音型・低振動型建設機械を使用すること (近隣住民の生活環境の保全の必要性がある場合)	-		2) 落下するおそれのある付属物は	敵去すること。				・ばいじん	
	機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)、公共建築			4)歩行者等の通行に支障を生じないよう交通誘導員を配置し、適切な処置を講じること。	-		3)解体に際して周辺環境に害虫等						
	成設備工事編)による。			※ 本工事は、交通誘導員として 3 人を見込んでいる。	#		4)電気設備のコンデンサ等は残留						
(1) 地元企業及び地場	s製品の活用 也元企業, 地場製品の積極的な活用に努める。			なお、交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会写真の撮影を 行い監督員に提出する。			5)衛生器具等は、十分に洗浄を行		⊮による興果の発生を防止する。 ○残留物は、施設管理者が回収、洗浄等を行うたと			回収及び処分の必要な特殊な建設副産物は、関係 調査によって判明した箇所も、処分方法等を監督	
タエ事受圧有は、 (2) 疑義に対する協調				5)ダンプトラック等による過積載の防止を図ること。			時期等について協議すること。	ウ小及び 方物等の	7% 自物は、胞故官項目が凹収、流序寺を1] りたの	9.	(7.3.1)	調査によりて刊明した国別も、処分万法寺を監督	(と) 励報し、同様に処力すること。
	*** れた内容に疑義が生じた場合(記載されてない事項等)又は現場の納まり、取り合い等の関係で、設計図			6)作業現場には、労働安全衛生法に基づく作業主任者等を置き、作業の安全管理に努めること。		1				LI		<u> </u>	
	きしくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。			① つり足場(ゴンドラのつり足場を除く), 張出し足場又は高さ5m以上の構造の足場の組立て.	@	2 解体順序	○ 解体仕様書による	図示による		⑤ (事前調査	目視及び設計図書等により、あらかじめ事前に次の)事項について事前調査を行い、調査結果をとりま
				解体を行う場合,コンクリート造又は鉄骨造の工作物(その高さが5m以上のもの)の解体作	-	(3. 3. 1)					(1. 4. 1)	とめて監督員に提出するとともに、その写しを工	
2.特記仕様				業を行う場合は、労働安全衛生法第14条に基づく技能講習を修了したものとする。	@	③ 杭、基礎等			解体し、砂利地業・割り石まで行なうこと。	紹		官公署へ報告を行う。	
	こ〇印のついたものを適用する。			② 木造建築物の解体作業を行う場合は、平成3年1月21日付け基発第39号「安全衛生教育の推		(3. 9. 1~3. 9. 2)	2)杭の解体 ・ 残置させる) 含		(1) 使用部位の確認	
	7のついたものを適用する。			進について」及び平成元年5月9日付け基発第485号「木造建築物の解体工事の作業指揮者に		1		≣別・杭径, 杭の	位置、杭頂部高さ、深さ等の記録を整備し、写真	실 建		(2) 種別,厚さ等の確認	
	1のつかない場合は,※印のついたものを適用する。 3と ⊗ 印のついた場合は共に適用する。			に対する安全教育について」に基づく安全教育を終了した者とする。		1	共に監督員に提出する。	祖提発生の自然	ナで押め戻すこと	材の		(3) 使用数量の確認 (4) 施工範囲と工事管理区分の確認	
	」と (※) 印のついた場合は共に週用する。 () 内番号は共通仕様書の該当項目を示す。		3)近隣との折衝	 地域住民等と工事の施工上必要な折衝を行うものとし、あらかじめその概要を監督員に報告する。		1	 2 残置杭の中、杭の破砕跡は、 3 残置する杭頭は、キャップ等 			除		(4)施工範囲と工事管理区分の確認 ・石綿含有分析調査 (※不要・必要	(内窓は下記による))
(3) 項目側に記載の	() 内留号は共通は保書の該当項目を示す。		(1.3.6)	地域住民寺と工事の泥工工が安は加賀を17つものとし、めらかしめての保安を監督員に報告する。 また、その経過について記録し、遅滞なく監督員に書面で報告する。			③ 残直する机頭は、ヤヤック等	ドで板いコンソソ	一トを打政すること。	麦		** 分析方法 JIS A1481-1「建材製品中のアスペ	
			(1. 0. 0)	O'AL COMMENT OF CHOSE OF METHOD CAND A CONTROL OF THE CAND A CONTR	a	4) 構内舗装等	1) アスファルトコンクリート及び:	コンクリート等の)解体は本工事とし、分別解体する。	びか			分析必要箇所 (箇所)
章 項	特 記 事 項	1	9 発生材の処理	・ 引渡しを要するもの ()	`	(3. 11. 1)	2) 樹木等の伐採伐根及び移植			理			
① ① 適用基準等	※ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律		(1. 3. 10)	・ 現場において再利用を図るもの (2	2 石綿粉じん濃度測	石綿粉じん濃度測定を行い、記録し監督員に報告:	rる。
	※ 建設廃棄物処理指針		(4. 1. 3~4. 5. 1)		©	⑤ 地下埋設物	・撤去する地下埋設物				定	※ 測定方法は、公共建築改修工事標準仕様書(建	築工事編)最新版による。
I-I I	※ 建設副産物適正処理推進要綱			(1) 建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物及び建設発生土		(3. 12. 1)			・ オイルタンク ・ 埋設廃棄物 ・ ()	(6. 1. 3)	測定点の取り方	
AG	※ 建設工事公衆災害防止対策要綱			(○建設発生土 ○コンクリート塊 ○アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材)			● 残置する地下埋設物 (● !			اايا		(1) 処理作業前	
m	※ 建築工事安全施工技術指針※ 労働安全衛生法※ 石綿障害予防規則			(2) 金属類 (3) 小型二次電池 ・ その他建設廃棄物の再資源化 ※ 無し			※ 上記以外で設計図書に記載され 応策を協議すること	ているい地ト理	安物の存在を確認した場合は、監督員に報告し、 対象	গ		・ 処理作業室内 (点)・ 施工区画周辺又は敷地境界 (4点)	
*	※ カ刺女王剛王法 ※ 石神碑音で的規則 ※ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)			● すり (①蛍光ランプ、HDランプ (砂質塩化ビニル管)	a	6 埋設配管	・ 検去・ 存置					(2) 処理作業中	
通	※ 建築基準法 ※ 環境基本法 ※ 騒音規制法			・ 指定建設資材廃棄物(木材が廃棄物となったもの)の縮減 ・ 無し ・ 有り	"	(3. 12. 1)		下埋設物の存在を	・確認した場合は、監督員に報告し、対応策を協調	i I		 処理作業室内(1点) 	
事	※ 大気汚染防止法 ※ 土壌汚染対策法			・ 産業廃棄物広域認定制度の適用 ※ 無し ・ 有り ()		(,	すること。		minority minority management			※ セキュリティーゾーン入口(点)…3	望気の流れを確認
項	※ 資源の有効な利用の促進に関する法律			・ 処理に注意を要する建設廃棄物 ※ 無し								※ 負圧・除じん装置の排出口 (点)・・・・ト	
^	・ 特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)			・ 有り (・CCA処理木材 ・ひ素, カドミウム含有石膏ボード)	@	⑦ 整地・埋戻し			「ること。(なお盛土する場合は図示による)			・ 施工区画周辺又は敷地境界 (4点)	
	・ フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)			※ 建設副産物情報交換システム(COBRIS) (財)日本建設情報総合センター		盛土			登生 ・他現場の現場発生良質土			(3) 処理作業後(離隔シート撤去前)	
O FFT (+/T) +/E #	京次本は、整神社学本立式主任社会本と神祇学社により自体、子本項提出において子本女、子畑、写本			本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じ		(3. 13. 1)	・再生コンクリート砂					※ 処理作業室内(点)	
(2) 監理(主任)技術者	受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事名、工期、写真 , 所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。			た場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。 また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬出 (搬入) する場合は、次表により計画書 (実施			2) 土砂流出の恐れのある部分は、:	エのう寺で処直す	ること。			・ 施工区画周辺又は敷地境界 (4点)	
	, 別属会社石及び証券中のパッた石化を相用する。 			書)を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。	l la	8 解体後の囲障	 設置する ○ 設置しない 	丁事中の仮用	川.)を存置	e	3 除去工事共通事項	1)専門工事業者	
③ 官公署手続き等	 工事の着手、施工、完成に当たり、関係機関への必要な手続き等を遅延なく行うこと。また、これらの				"	9/// K 07 EE 1	※ 囲障を設置する場合の仕様等		4 C 11 E		(6. 2. 1~6. 2. 9)		3業者については、工事に相応した技術を有するこ
(1. 1. 3)	手続き等を行うに当っては、届出内容についてあらかじめ監督員に報告すること。なお、手続き等に要			施工計画時 工事完了時 搬出 再生資源促進利用計画書 再生資源促進利用実施書			1	木杭+番線引	ξ り • ()			とを証明する資料を監督員に提出すること。	
	する費用は受注者の負担とする。			搬入 再生資源利用計画書 再生資源利用実施書			高さ ・図示	• H= m				2)作業主任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者	
							設置範囲・ 図示	 敷地境界全域 	ŧ			①石綿作業主任者技術講習又は平成18年3月以	前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した
	受注者は、次表に従い、工事実績情報を登録する。			1) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、廃棄物処理法に基づき許可した			15.115=-1551					者のうちから、石綿作業主任者を選任し、管	
登録 (1, 1, 4)	※ 登録内容について、あらかじめ監督員の承諾を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。た			適正な施設(許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従っ	@	9 建設発生土		場外搬出適切処	置・場外指示の場所に敷き均し				保温材等の除去工事では、特別管理産業廃棄物管理
(1. 1. 4)	だし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。			た適正な施設)のうち受入条件が合うものの中から、連搬費と受入費(平日の受入費用)の費用の 合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要			・場内指示の場所に堆積	+++ カのハ の)関与する埋立地に搬出するものとする。			責任者の資格を有する者を選任し管理させる 3)除去作業者	~ & .
	請負金額 工事受注時 登録内容の変更時 エ 事 完 成 時			する費用(単価)は変更しない。			搬出場所:		の公の関与する埋立地				「除去作業者」という。)は,石綿障害予防規則
	500万円以上 契約後10日以内 変更契約後10日以内 工事完成後10日以内			2) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入す建設廃棄物については、広島					UHPの建設発生土処分先一覧表」に掲載されてし	A			制」という。)に基づく特別の教育を受けた者と
	なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要)			県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事では、広島県産業廃棄					搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費)				石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、
	変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う(請負代金のみ変更の場合、登録不要)			物埋立税相当額を見込んでいる。					ァルプラント又は建設発生土受入れ地(一時たい			肺機能に異常がない者とする。	
1	※ 登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。					1		がって, 正当な理	聖由がある場合を除き残土処分に要する費用は変	E		4)施工計画書	S 25 4 5 5 1 2 1 65 2 65 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	#=## N/ PI = 1 - 1 7	ΙŒ	9 施工計画調査	工事の着手に先立ち、施工計画作成のための調査を行う。		1	しない。			.)飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査
⑤ 別契約の関連 工事との調整等	施工範囲 ※ 図示による。 関連工事との調整	,	(1.5.1) 5 施工数量調査	施工に先立ち、下記の施工数量調査を行う。		1	なお、工事発注後に明らかになる 員と協議するものとする。	ったやむを得なし	>事情により、上記の仕様に拠り難い場合は、監督	f		等の結果に基づき作成し、監督員の承諾を 5)表示及び掲示	217 ること。
工事との調整等 (1.1.7)	関連工事との調整 ※ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。		5 施工数量調査 (1.5.2)	施工に先立ち、下記の施工数量調査を行う。 ※ 調査範囲()		1	貝に助誠するものとする。					(5)表示及び掲示①関係者以外立入禁止、喫煙・飲食の禁止、石	綿除去作業中等の表示を行う。
	※ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無値とする。 ※ 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い,監督員の調整に協力し,		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	※ 調査制度 ()	4	1) 施工計画調査	1)特別管理産業廃棄物等とは、特別	引管理産業俸奪∜	別及び特殊な建設副産物をいい、その種類は次に。			①関係者以外立人崇正, 突煙・飲食の崇正, 石 ②石綿の有害性, 取扱い上の注意事項, 使用す	
1	当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。			·		(5. 1. 2) (7. 1. 3)			施工調査を実施し調査結果を調書に取りまとめ、				(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制
			施工の検査	監督員による随時の検査を行う。	特 別	1	監督員に提出する。					措置、ばく露防止措置等)」を周辺住民の見	やすい場所に掲示する。
⑥ 工事工程表	検査期間としての14日間を含んだ工程とし、工事全体を把握して作成し監督員の承諾を受ける。		(1. 6. 4)	※ 検査に必要な資機材、労務等を提供すること。	管理	1			合む機器類 ・PCB含有シーリング材 ・廃	#		6)保護具・保護衣	materials at the materials and the second
(1. 2. 1)	※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出する。	[].	ファ本尼におかか		産	1		廃アルカリ					保護めがねを使用するとともに粉じんが付着しに
⑦ 施工計画書	 工事に先立って次の計画書・書面を提出する。	¹	7 工事履行報告書	毎月7日までに、前月末までの履行状況を、実施工程表及び現場状況写真を添付して提出すること。	薬 廃	1		ン、ハロン等の特 化学物質等	特定物質 ・放射性物質 ・六ふっ化硫黄 (SF6)			くく、服内部に侵入しにくい保護衣又は作業 ②監督員の現場作業の立入確認のため、保護具	
(1.2.2)	工事に先立って次の計画書・書面を提出する。 ※ 解体工事施工計画書 2 部(1 部返却)	4	8 埋設物等の報告	 工事の施工に当たり、設計図書に記載されていない地下構造物、埋設配管等を発見した場合は、直ち	棄	1			ら特別管理産業廃棄物等は次のとおりであり、適t	л I		②監督員の現場作業の立人催認のため、保護具 7)官公署その他への手続き	, 体収払で一丸氷場に加える。
I	(総合仮設計画書,安全対策計画書,分別解体等計画書,建設副産物処理計画書)	"		エーロッパ 「一日 10 10 10 10 10 10 10 1	190	1			E結果と共に調査結果 (調書) に反映させること			①労働安全衛生法の吹付け石綿除去作業の工事	計画届(労働基準監督署)
1	添付書類				特 殊	1	·特別管理産業廃棄物 ①廃石組					②「石綿則」第5条第1項の規定による作業届	(労働基準監督署)
1	廃棄物処理業者(収集、運搬、中間処理最終処分)の許可の写し		9 地下埋設物調査	① 行わない	な	1	*	無し				③大気汚染防止法の特定粉じん排出等作業実施	届出(都道府県知事)
1	二者の委託契約書の写し			・行う 図示する範囲内において、整地前に敷地境界から2mの距離を置き、幅1m、深さ1.5	設	1		有り()			④その他,各自治体の条例又は要綱等により義	
I	処分場の位置及び運搬ルート			mで、3m間隔で掘削調査を行う。	副	1		Bを含む機器類				(特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書	等)
	※ 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書 各2部(1部返却) ※ 「建設工事に係る終れの再終源れ第に関するはは、 (建設工事に係る終れの再終源れ第に関するはない。)	6	安康リサノカリオ	株字字序用機器下来日ルナ(立よ10年6月5日ナ伊等07日)に作字する機械機器を加入する場合は、日	物			無し	,			8)適用基準等 ※ 「神弥・紹休工事に伴るマスペスト序奔機を	1期に明まる仕条作品、日報語:
I	※「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)による対象建設工事に係る書面 各2部(法第12条第1項、法第13条及び省令第4条)			特定家庭用機器再商品化法(平成10年6月5日法律第97号)に指定する機械機器を処分する場合は、同法に基づき処理を行うこと。また、工事完了後に管理票の写しを提出すること。	処			有り (B含有シーリンク)			※ 「建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物が	ニエ・一因 グストツ 1日町 「 円 件 記し
			7-3 NA DATE V/762/J		理	1		ロヨ有シーリン) 無し			4 石綿含有吹付け材	1)処理を行う石綿含有吹付け材の仕様及び部位	
⑧ 工事の記録	下記のものを監督員に提出する。工事中及び完成写真の作成は「営繕工事写真作成要領」による。	1 0	完成時の提出書類	① 産業廃棄物処分の実績報告書 1部		1		有り()		の除去	※ 図面による・ 下記による	
(1. 2. 3)	⊙ 工程写真	ا ا		⊗ マニフェスト (D・E票)の写し及び集計表を添付する。			④廃油				(6. 3. 1~6. 3. 4)	石綿含有吹付け材の仕様	使 用 部 位
I	工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真(カラー・サービス版)を工事履行報告書に			○ 写真 1部 (A4判印刷,若しくはA4判写真帳)		1	,,,,	無し				- Hand District Adv Link	× /11 HP 14
I	添付するものとする。			※ 原版の提出 ① しない ・する (・全て ・指定する工程のみ)		1)残油(オイルタンク及び配管内含む))			<u> </u>	
I	● 工事中写真 ● 全部がも紹介工事の集に、独型の主義を原理する。本語は第一般は手順の名の際によりは2枚工具の言葉			(電子データ形式等は、監督員の指示による。)				廃アルカリ				· · ·	
I	全般的な解体工事の状況、建設副産物処理及び事前措置、解体手順の各段階における施工が完了	,	2 試掘	 抽出に優休協士するキアル軸筆がたいこした理想するため、カカロ ***********************************		1		無し 有り (
I	した写真、水中又は地下に埋設される部分、分別解体を行っていることが確認できる状況写真、その他工事終了後では確認できない事項、その他監督員が指示する箇所はA4版写真台紙にまとめて	$ ^2$	∠ 674.10m	地中に解体撤去すべき工作物等がないことを確認するため、次の時期及び方法により試掘を行う。 ※ 試掘時期 ・完成検査時 ・ ()		1	・ ・特殊な建設副産物 ①フロ:)			2)作業場の隔離,養生等	
1	の他工事終了後では確認できない事項。その他監督員が指示する国所はA4版与具合裁にまとめて 完成検査日までに提出するものとする。			※ 試掘庁朔 ・ 元以快堂庁 ・ ()		1		ノ寺の行走初貝 無し					止及び処理を行わない他の部位への汚染を防止す
1	なお、基礎や地下構造物等の撤去については、撤去物の全般に亘り、その位置・深さが明確に分			なお、試掘は建築物1棟ごとに1箇所以上、外構(排水施設、舗装等)で1箇所以上行い、試		1			気調和設備の冷媒・)			るため、プラスチックシート等を用いて負圧	
I	かり撤去前と撤去後の状況が確認できる写真とすること。			掘する箇所については、検査員の指示による。		1	②放射1		•			②隔離した作業場内は、HEPAフィルターを備え	た負圧除じん装置により、常時負圧を保つ。
1	【提出部数】:1部	2		受注者と直接的な雇用関係にある技術者及び作業員等により、次の工種を全て施工すること。		1	*	無し				③隔離した作業場内への出入りによる石綿粉じ	んの二次汚染を防止するため、前室、洗浄室及び
I	○ 完成写真		対象工種	・ 解体工(仮設工事,産業廃棄物の収集運搬処分等付帯工事,及び敷地整地工事は除く。)		1		有り ()			更衣室の3室で構成するセキュリティーゾー	ンを設置する。
	撤去前と撤去後の状況が確認できる写真とすること。		<u> </u>				③六ふ・	っ化硫黄(SF6)				④洗浄室にはエアシャワー設備を設ける。	
									右미士冲라 PD P 2+ ᅉ +o -bu -bu -bu	工事名称	公園便所解体工業	<u> </u>	図面No
								النبا	福山市建設局建築部営繕課	畐 谷	公囷馊肵解体エ┅	₽	
									RRT	図面名称			# 40 1
								1	2023年 11月	解体	工事特記仕様書	(1)	A2版 71%

				_			
章 5	項	特 記 事 項 ⑤除去物の処理	章 ⑤	+	項	特 記 事 項 化した状態で作業を行う。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、除じん性能を有する電動工具を	
ll		③除去初の処理 ※ 密封処理(二重袋梱包) ・ セメント固化	9			にした状態で作業を行う。なお、湿润化か者しく困難な場合は、除しん性能を何9 る電製工具を 使用するなど粉じんの発散を防止する。	
石綿		3)除去工法				③除去した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重でこん包する。	
含		※ 図面による・ 共通仕様書による			4	1)除去した石綿等の保管、運搬、処分等	
建		施工場所(4)除去した石綿等の保管、運搬、処分等				6 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 処分先については、監督員の指示による。	
めの		①除去した石綿含有吹き付け材等を搬出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管場所を				● 埋立処分 (・ 安定型最終処分場 ・ 管理型最終処分場)	
含有建材の除去及び処理		定め、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、石綿等の保管場所であることの表示を行う。				- 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)	
及 び		当該工事により発生する石綿を含む廃棄物は、下記の処分先を見込んでいる。				なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監	
処理		処分場所 () 運搬距離 () 受入条件 (※平日受入 ・)			5	督員と協議すること。 5)確認及び後片付け	
ll		※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)				①関係法令等に基づき,石綿等に関する知識を有する者等により,除去が完了したことを確認する。	
ll		なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、				②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分清掃する。	
ll		監督員と協議すること。 ②石綿を廃棄物として排出した時は、その都度、排出量と処理先を監督員に報告するととともに、		\dashv			
ll		産業廃棄物管理票(マニュフェスト)の写しを添付した廃棄物処理報告書を提出する。					
ll		5)確認及び後片付け ・ ①明度は金質に甘べま。石質質に明する知識が有する主義により、除土が完了したことが確認する。					
ll		①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。					
ll		③養生用のプラスチックシートの撤去に先立ち、高性能真空掃除機で養生面、床等の清掃を行う。					
ll		④養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全面に粉じん					
ll		飛散抑制剤を散布する。 ⑤壁面等の養生用のプラスチックシートの撤去は、集じん・排気装置で十分に吸引・ろ過し、原則					
ll		として、隔離空間内部の空気中の総繊維数濃度を測定して、石綿等の粉じんが処理されたことを					
		確認した後に行う。 なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラ スチック袋に入れる。					
		⑥養生を行っていない足場、仮設材を清掃した後に解体搬出する。					
		⑦床養生用のプラスチックシートは、粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入					
ll		れる。 ⑧養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2) ⑤により処理等を行う。					
		⑥後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。					
ll	5 石綿含有保温材等 の除去	1)処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による					
	(6. 4. 1~6. 4. 4)	- 下記による ※ 凶脚による 石総含有保温材等の仕様 使用部位			1		
ll		1.					
ll							
ll		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
ll							
ll		2)養生等 ①石綿含有保温材等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を					
ll		用いて隔離養生(負圧不要)を行う。					
ll		②作業場の隔離 (・行う ※ 行わない)					
ll		石綿含有保温材等の除去にあたり. 掻き落し・破砕・切断による方法の場合は. 作業場の隔離 を行うこと。					
ll		3)作業場の隔離を行う場合は、4 2)を適用する。					
ll		除去工法					
ll		※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手ばらし ・ 石綿含有吹き付け材の除去による 除去物の処理 (※ 密封処理(二重袋梱包) ・ セメント固化)					
ll		4)除去した石綿等の保管、運搬、処分等					
ll		4 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。					
ll		5)確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。					
ll		②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。					
ll		③養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。また、石綿の付着が考えられる					
ll		場合には、必要に応じて粉じん飛散抑制剤又は粉じん飛散処理剤を散布する。					
ll	6 石綿含有成形板等	1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位					
ll	の除去(6.5.1~6.5.4)	・ 下記による ※ 図面による					
ll	(0. 5. 1~0. 5. 4)	石綿含有成形板 等 の仕様 使用部位					
ll							
ll							
ll							
ll		2)養生等					
ll		石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用い て作業場所の周辺の養生を行う。					
ll		3)除去工法					
ll		①原則、手ばらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態では作者となった。					
ll		態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場 所の隔離養生(負圧不要)を行う。					
ll		②除去した石綿含有成形板等の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことの他、粉じ					
ll		んの飛散防止に努める。 ③破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措					
ll		③吸軒された石精音有成形似等は、連貫化のうえ、丈夫なブラステック表に入れる等派取的工の指 置を講ずる。					
ll		4)除去した石綿等の保管、運搬、処分等					
ll		①処分は原形のままとし、処分先は監督員の指示による。 ① 石総含有石こうボード					
ll		※ 埋立処分(管理型最終処分場)					
ll							
ll		・ 埋立処分(安定型最終処分場)・ 中間処理(溶融施設)なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、					
ll		監督員と協議すること。					
ll		②除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等					
ll		がして味苦するものとし、シードで復り寺派取防血指量を誤する。また、味音場がには、石林寺 の保管場所であることの表示を行う。					
		③石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輌の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努め			1		
		る。 5)確認及び後片付け			1		
		①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。			1		
		②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分清掃する。			1		
	7 石綿含有仕 F 塗材	1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位			1		
	(下地調整塗材	・ 下記による ※ 図面による			1		
	含む)の除去	石綿含有仕上塗材の仕様 使 用 部 位			1		
					1		
		 			1		
					- 1		
		2) 養生等			1		
		電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、石綿の作業場から外部への飛散防止のた			1		
		め、養生シート等を用いて隔離養生(負圧不要)を行う。 2)除ままは、 (株工場所・ ※ 図書			1		
		3)除去工法 (施工場所: ※ 図示) ①石綿含有仕上塗材の除去は、高圧水洗工法や剥離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行			1		
		う。			1		
1	1	②電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤	1 1				



工事場所:福山市芦田町福田7268番地

付近見取図 S=NO SCALE

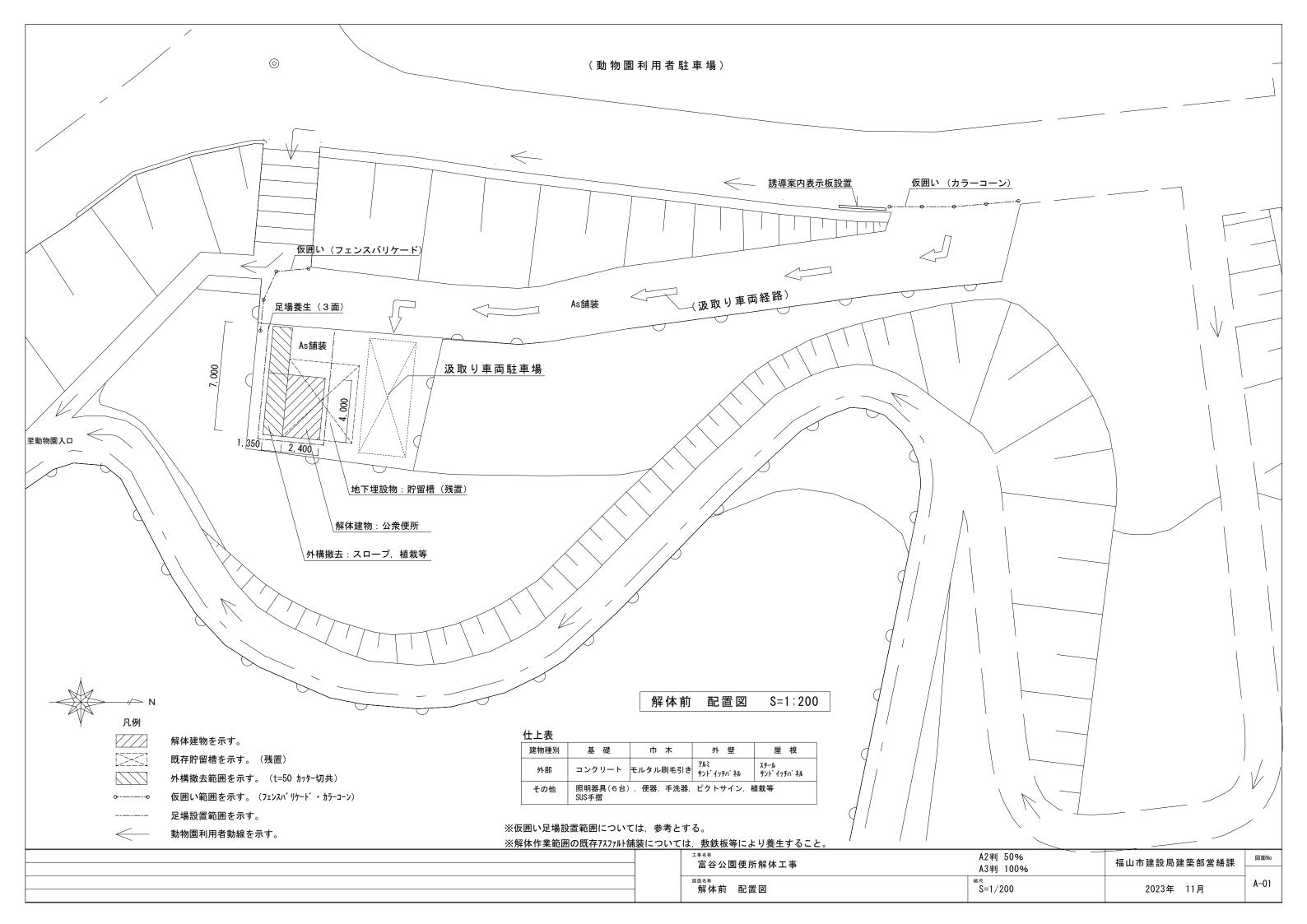
解体建物概要

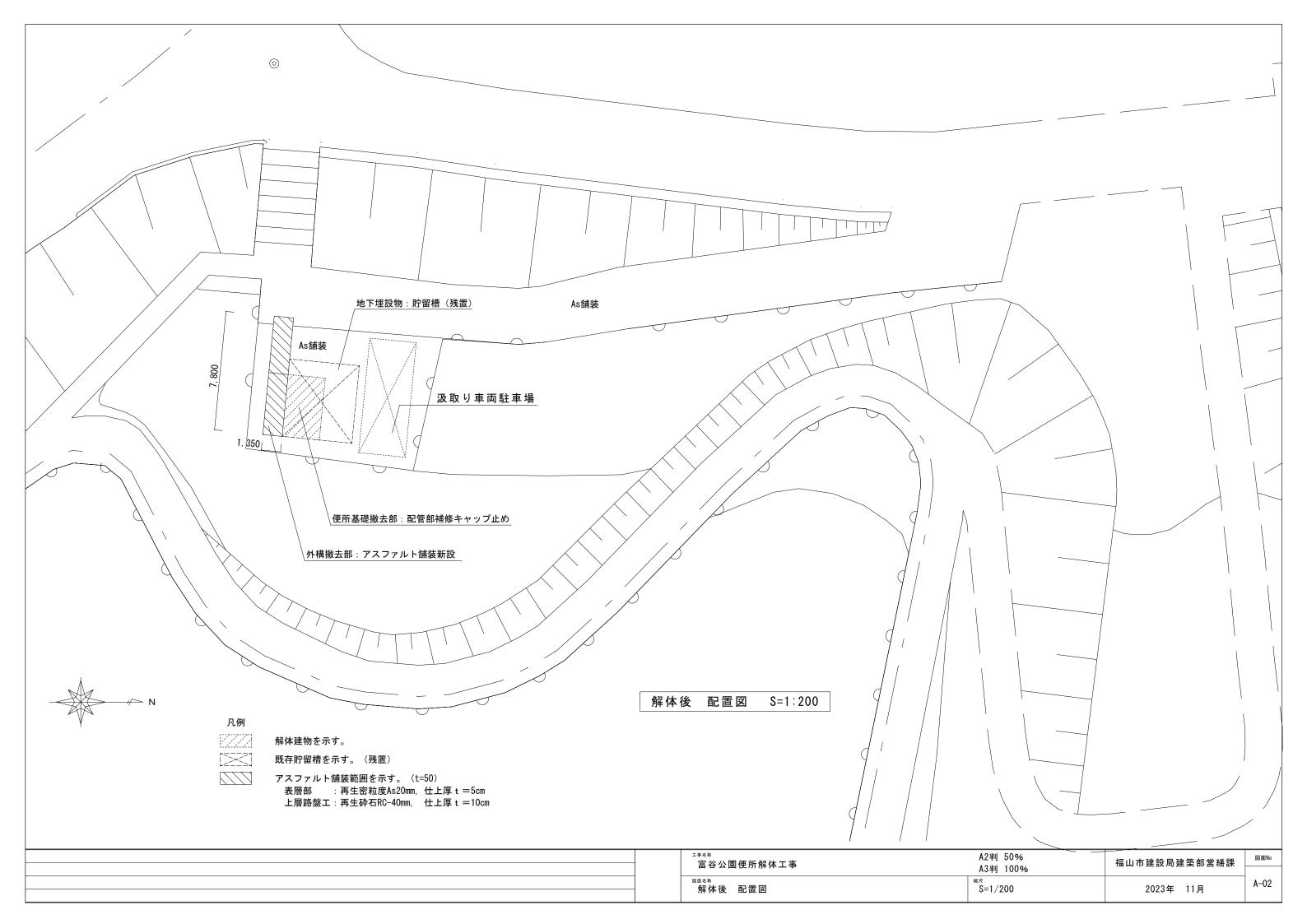
建物名	構造	面積	備考
富谷公園便所	軽量鉄骨造	9. 60 m്	外構、植栽の撤去含む

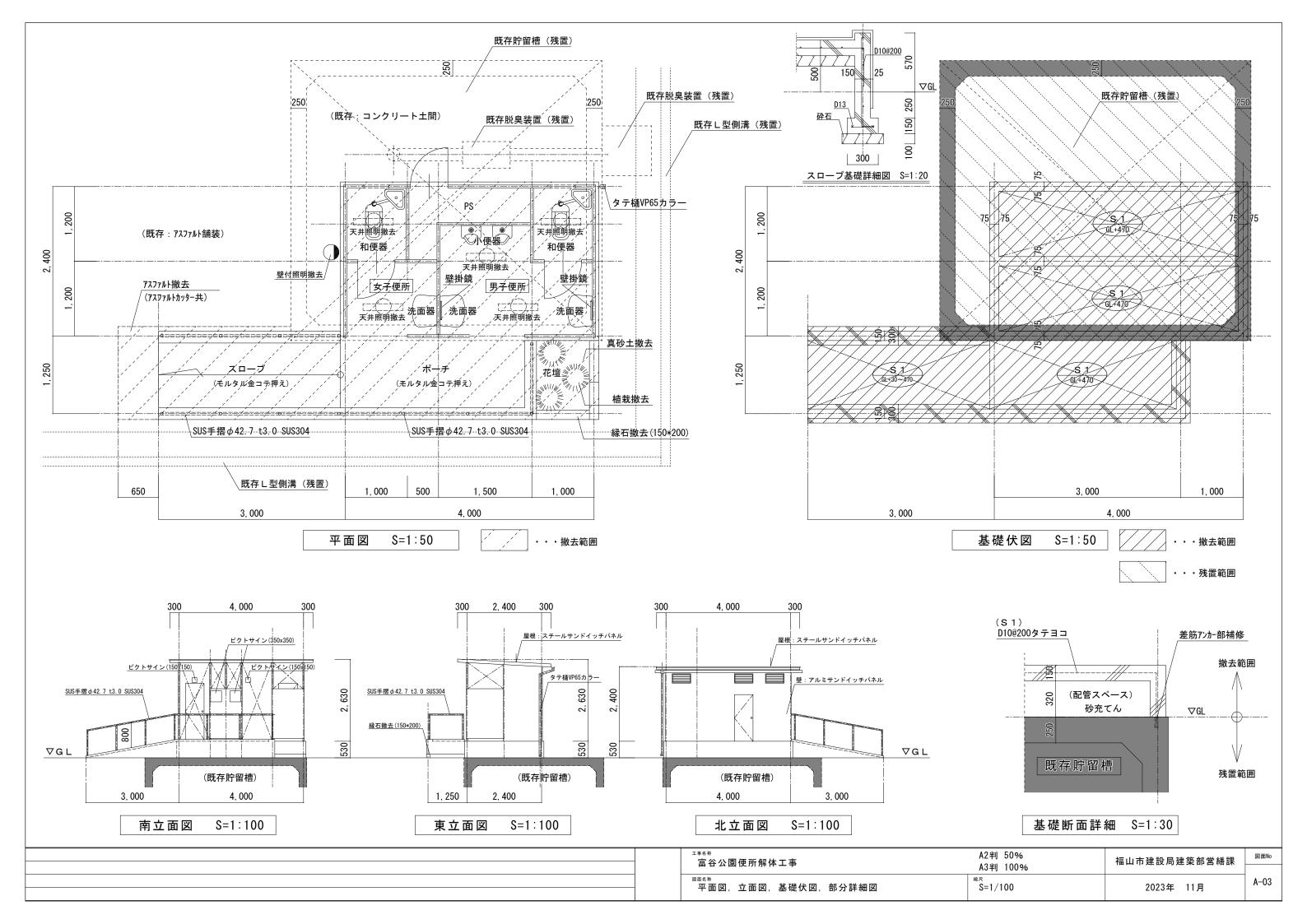
注記

- ・解体建物は貯留施設に隣接し、平日は汲取り等作業があります。
- ・解体建物下部に貯留槽があります。解体作業には十分注意し残置してください。
- ・雨水排水管、給水管は全て撤去・処分すること。
- ・電気設備、機械設備(アンテナ、外灯含む)は全て撤去・処分のこと。
- ・残置する範囲は鉄板敷き等により養生すること。
- ・既設取合のある配管は切断の上フランジ止めのこと。
- ・量水器は残置すること。
- ・敷地内の植木、草花、雑草等も全て撤去・処分のこと。
- ・敷地周辺の水路、排水溝に放流している配管を撤去した開口部はモルタル等で補修のこと。
- ・工事用車両により全面道路に泥を持ち出さないよう対策を講ずること。
- ・敷地内の,特記なき残置物等は全て残置とする。
- ・工事期間中はバリケード等で立入禁止措置を設ける,歩行者等の安全に留意すること。
- ・解体作業前に仮囲い等を設置し、敷地内利用に影響がない様注意すること。
- ・足場組立・解体時・廃材搬出時等,必要に応じて誘導員を配置すること。

	福山市建設局建築部営繕課	^{工事名 15} 富谷公園便所解体工事		図面No
				共02
	2023年 11月	^{図面名表} 解体工事特記仕様書 (2), 附近見取図	^{網尺} N. S	A2版 71%
				A3 # 50%







参考数量書

§ 工事名称 富谷公園便所解体工事

§工事場所 福山市芦田町福田7268番地

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく 参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。
 - ※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

内 訳 書

工事名称 富谷公園便所解体工事

工事場所 福山市芦田町福田7268番地

【解体建物概要】 便所:軽量鉄骨造 平家建 延べ面積 9.60㎡

【その他構造物他】 外構、雨水排水,植栽等

	T					_	
名称	数	量	単位	金	額	備	考
建築工事		1					
		1	式				
† †							
六							
共通仮設費							
		1	式				
現場管理費			17				
		1	式				
一般管理費等		1					
		1	式				
# <u></u>							
工事価格							
<u> </u>		1					
消費税等相当額			式				
		1	式			消費税率 10 %	
工事費			10				
		1	式				

工事種別内訳

2

名	称	数	量	単位	金	額	備	考
解体工事			1					
			1	式				
外構工事			1					
が正	L			式				
П	l							

				T			T	
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
便所			1					
 計				式				
1								

	I					1	
名	 数	量	単位	金	額	備	考
外構		1					
計			式				
						1	

便所						
名称	数	量	単位	金額	備	考
直接仮設		1				
		1	式			
とりこわし		1				
		1	式			
発生材処理		1				
			式			
11-14-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-1						
				1		

外構								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
外構			1					
70 A- ++ 60 TH				式				
発生材処理			1					
計				式				

便所						
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考	÷
直接仮設						
		1	式			
計						
とりこわし	建物					
		1	式			
とりこわし	設備		24			
		1	式			
とりこわし	電気		24			
		1	式			
とりこわし	外構		20			
		1	式			
計			20			
発生材処理	運搬					
		1	式			
発生材処理	処分		10			
		1	式			
計			八			
		<u> </u>				

外構					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外 構		1			
		1	式		
計					
発生材処理	運搬	1			
発生材処理	処分		式		
		1	-45		
計			式		

便所				直接仮設								
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
外部足場											別紙 00-0001	
					1	式						
災害防止											別紙 00-0003	
					1	式						
仮設材運搬						10					別紙 00-0004	
					1	式						
整理清掃		一 般				14						
後片付け					25. 6	2						
 計						m²						

便所		とりこわ	し				建物				
名 称	摘 要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
建物基礎解体											
tre											
便所基礎解体	有筋 手こわし解体		9.0								
	積込共		2.8	m3							
スロープ解体	土間部 厚100~150			mo							
	大型プレーカー 圧砕機併用		1.8								
	積込み・鉄筋分別共			m3							
土間コンクリート	アスファルト面										
カッター入れ			5.8								
既存貯留槽土間	切断鉄筋錆止め共			m							
モルタル補修	97时欧加州正07号		1								
			1	式							
砂撤去	積込共										
			5.3								
				m3							
建物上屋解体											
S造建物上屋解体	鉄骨カッター主体 軽量級										
0.000000000000000000000000000000000000	積込み共		9.6								
				m²							
内部造作解体	積込み・分別含む										
			9.6								
1 1 1 1 h	2			m²							
とりこわし機械 運転(ベースマシン)	ハックホウ		1								
連転(ハーハバノ)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型 0.13m3		1	運転日							
とりこわし機械	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.1	3m3		2年124日							
運搬			1								
(ベースマシン, バックホウ)				往復							
縁石撤去											
			1	_15							
計				式							
甲											

便所	1 [7] [7] [7] [7]		とりこわ	L				設備			11
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
機械設備撤去										別紙 00-0007	
				1	式						
計											

便所			とりこわ	し				電気			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
電気設備撤去				-1						別紙 00-0011	
				1	式						
計											

便所			とりこわ	し				外構			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
直栽撤去										別紙 00-0009	
				1	式						
計					-						

便所				発生材処	.理				運搬				
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
積込み		コンクリート類 機械											
					4. 6	m3							
積込み		内装材等				1110							
					2.7								
とりこわし		有筋コンクリート				m3							
発生材運搬		ダンプトラック 4t積			4. 5								
						m3							
とりこわし 発生材運搬		無筋コンクリート ダンプトラック 4t積			0. 1								
无工作 连脉		グークグードグググ 生じ行員			0. 1	m3							
とりこわし		砕石,砂											
発生材運搬		ダンプトラック 4t積			5. 3								
とりこわし		モルタル、がれき類				m3							
発生材運搬		ダンプトラック 4t積			0.2								
1 10 11 1						t							
とりこわし 発生材運搬		産廃(一般) ダンプトラック 4t積			0.8								
76 Z.71 ÆM		7 17 1777 10194			0.0	t							
とりこわし		廃プラスチック類											
発生材運搬		ダンプトラック 4t積			0. 1	_							
とりこわし		鉄くず(スクラップ)				t							
発生材運搬		ダンプトラック 4t積			1								
1 10 11 1		N. 1. 44				式							
とりこわし 発生材運搬		蛍光管			1								
76 Z.71 ÆM					1	式							
計													

便所				発生材処	理				処分				
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
とりこわし		有筋コンクリート											
発生材処分		ダンプトラック 4t積			4. 5	2							
とりこわし		無筋コンクリート				m3							
発生材処分		ダンプトラック 4t積			0.1								
1 10 - 1 1		74 7* Til.				m3							
とりこわし 発生材処分		砕石,砂 ダンプトラック 4t積			5. 3								
					0.0	m3							
とりこわし		モルタル、がれき類											
発生材処分		ダンプトラック 4t積			0.2	t							
とりこわし		産廃 (一般)											
発生材処分		ダンプトラック 4t積			0.8								
とりこわし		廃プラスチック類				t							
発生材処分		ダンプトラック 4t積			0.1								
						t							
スクラップ 控除		ステンレス (SUS304)			0 1								
					0. 1	t							
とりこわし		蛍光管											
発生材処分					1	_6							
計						式							
н 1													
							<u></u>	<u> </u>					

外構			外 構								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
根切り	小規模土工										
	_			1. 3							
床付け	総掘り				m3						
				8.8							
777 31.8444		tl- h= \=\.			m²						
アスファルト舗装	A-5-10 再生密粒 再 特に狭い場所 人力	生.7792472		8.8							
				0.0	m²						
土工機械運転	排出ガス対策型 油圧	式 クローラ型									
(バックホウ)	0.13m3			1	運転日						
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規	見模土工)			22,211						
	_			1							
土工機械運転	- nyh*	ガイド式			往復						
(振動p-5)	0.8~1.1t	W 11 24		1							
					運転日						
舗装機械運転	2.0~4.5m			1							
(アスファルトフィニッシャ)				1	運転日						
舗装機械運搬											
(アスファルトフィニッシャ)				1	0.41						
計					往復						
н											

外構	1 [1 [7] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1		発生材処	理				運搬			11
名 称	摘	要	数		単位	単	価	金	額	備	考
積込み	発生土 機械			1. 3	m3						
建設発生土運搬	砂質土・礫質土 ダンプトラック 4t積			1	式						
計					10						

外構			発生材処	<u>.</u> 理				処分			備考		
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
建 設発生土処分	砂質土・礫質土			1									
				1	式								
計													

便所			直接仮設								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
卜部足場										別紙 00-0001	
				1	式						
単管一本足場	掛払い手間				10						
	10m未満 -			56. 1							
V 66	ULTION CLASSICAL Means with	A.1.			m²						
单管一本足場	供用30日賃料 修理費 10m未満 -	含む		56. 1							
	Tomoje (jed			50.1	m²						
単管一本足場	基本料 修理費含む										
	10m未満 -			56. 1	2						
計					m²						
н											
災害防止										別紙 00-0003	
				1							
方音シート張り	W 41 1 1 7 FB				式						
カ音シート張り	掛払い手間	-		56. 1							
				00.1	m²						
方音シート張り	供用30日賃料 修理費	含む -									
	-			56. 1	2						
方音シート張り	基本料 修理費含む	_			m²						
7 6 4 1 100 7	-			56. 1							
					m²						
計											
反設材運搬										別紙 00-0004	
火政材 連版				1						为7 和 00-0004	
				-	式						
反設材運搬											
(単管一本足場)				56. 1	m²						
反設材運搬					111						
(シート・ネット類)				56. 1							
-31					m²						
計											
										<u> </u>	

便所				とりこわし 設備										
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
機械設備撤	去										別紙 00-0007			
					1	_154								
和風便器撤	去					式								
					2									
小便器撤去						か所								
小使奋服云					2									
						か所								
手洗洗面器	撤去				3									
					J	か所								
大便器廻り	ユニット	単水栓,紙巻器												
散去					2	組								
鏡撤去		再使用しない				州土								
					2									
給水管撤去		ポリスチレン 地中埋設				枚								
阳八日服云		小 //// 地下生成			1									
						式								
汚水管撤去		塩ビ管 100Φ 地中	埋設		1									
					1	式								
配管キャップ・1	上め	配管キャップ止め												
					1	式								
計														

便所			とりこわ	し				電気					
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
電気設備撤去										別紙 00-0011			
				1	式								
蛍光灯器具	露出形 FL 40W >	(1											
散去	再利用しない			6	/1003								
電気配線・配管					個								
散去				1									
計					式								
н													

便所			とりこわし 外構									
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
直栽撤去										別紙 00-0009		
				1	式							
 植栽撤去	低木											
				1	式							
計					~							

		T		Ī								
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
'ェンスハ゛リケ-	小`設置	1,810×1,800mm			- 1							
					5. 4	m						
ラーコーン設力	置					111						
					8							
						m						
交通誘導	員	交通誘導警備員B			3							
					3	人						
反設鉄板!	敷	供用60日賃料 敷鉄板				, ,						
		$1524\times6096\times22\mathrm{mm}$			16							
_		設置・撤去・運搬共				m²						
THE STATE OF THE S	†											
		1										